

東日本 APM ニュース

第519号 2020. 1/6

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
URL:<http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324
発行人 八尋 一恭

2020年 年頭ご挨拶	1
連合会会長 新年のご挨拶	2
ドローンの用途	3

事務局レポート	4
年賀広告	7

2020年 年頭ご挨拶



一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
会長 大野 泰昭

新年あけましておめでとうございます。皆様には謹んで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は会員の皆様はじめ関係官庁業界団体さらに多くの皆様には、格別なるご支援を賜り誠にありがとうございました。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

関東経済産業局様には、産業部担当次長久世尚史様はじめ職員の皆様に常日頃から、あたたかいご支援をいただき心よりお礼申し上げます。

当工業協会の重点事業である能力開発・技術向上の推進におきましては、能力開発推進委員会の委員の皆様の努力により、プラスチック成形一級では15名、二級では49名の技能士が誕生しました。

東日本プラスチック製品協同組合(嶋田理事長)

におきましても、会員の皆様へ様々な物品斡旋事業を実施してまいりました。

ところでお話を変わりますが、「日本の企業はデジタル対応力の底上げを」という題名で新聞に出ていました。『デジタル技術の活用で事業を変革し、新たな市場を切り開く。業種や規模の大小を問わず多くの企業にとって、デジタル・トランスフォーメーションが経営の重要課題に浮上している。

その際に欠かせないのが、企業のデジタル化対応能力だが、現状は心もとない。経営者は自社のITシステムやスキルを点検し強化を急ぐ必要がある。

問題点の一つは多くの企業でITシステムが老朽化・ブラックボックス化していることだ。日本の情報システム・ユーザー協会の調査では、日本企業の7割が「古いシステムが変革の妨げ」と答えている。IT予算の多くの部分が「レガシー」と呼ばれる老朽システムの維持更新に使われ、新分野の投資が滞る恐れもある。

もう一つの問題は人材の薄さだ。システムの詳細な設計やAIなど、先端技術の開発については外部の専門企業に任せることもあるが、デジタルをテコにして自社をどう変えるのか、そのビジョンを描くのは経営陣だ。逆に社内の人材が乏しく、外

部の業者にシステム設計を「丸投げ」するような企業には、他社に差をつけるデジタル変革は難しいだろう。

最後に重要なのは経営トップの関与だ。経済同友会は「これからの経営者には、自分でSNSを使いこなすようなマインドセットが必要」と提言した。トップ自身がデジタルの便利さや威力を肌身で知れば、組織全体のデジタル化にかける本気度もおのずと高まるだろう。』と記者は結んでい

新年のご挨拶 —時を超えて更なる奮闘へ—



全日本プラスチック製品工業連合会
会長 加藤 豊

新年、明けましておめでとう御座います。

皆様に於かれましては新しい年を穏やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は経済産業省様、関連諸団体様をはじめ連合会会員の皆様には格別なるご指導、ご支援を賜わりまして誠に有難う御座いました。本年も引き続きご指導、ご支援を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみると、国内外問わず色々な出来事がありました。

国内最大の出来事は平成天皇が退位され、皇太子徳仁親王殿下が第126代天皇に即位されたことです。皇位継承に伴い、元号が平成から令和へと改められた年でもありました。また、リチウムイオン電池を開発された旭化成の吉野 彰氏がノーベル化学賞を受賞され、さらにスポーツ界に於いても若いアスリート達の活躍が目立つなどの明るいニュースがありました。一方で、9月の台風15号、10月の台風19号・21号の襲来で、記録的な大雨による水害、土砂災害、大規模な停電等の多大なる被害が発生するなど暗い悲惨なニュースも多くありました。我々の身近に於きましても、10月から消費税率10%のスタート、外国人労働者の受け入れ問題、海洋プラスチックごみ（マイクロプラスチック）問題の影響による脱プラスチック傾向の進展など様々な出来事が多くあり、今後も引き続き対応が必要となると思います。

海外に目を向けてみると、政治的な出来事も多く

ます。私自身もSNSを使いこなしておりませんが、企業のデジタル対応力が今後の勝敗に大きなポイントになると思いますので、令和二年はデジタル投資を大事な一つの柱にしていきたいと思います。

令和二年が我々業界にとりまして良い年になることを信じて、事業経営に邁進していきたいと思います。これで新春の挨拶に代えさせていただきます。

ありました。日韓関係に於きましては、慰安婦問題や元徴用工問題が貿易問題、軍事情報問題へと発展して更に悪化しました。また、香港情勢も含めた米中間問題、GSOMIAをめぐる日米韓の問題、北朝鮮問題など様々な出来事がありました。しかし、業界全体を振り返りますと、業種別格差はありますが、比較的穏やかな景気の年だったと思います。

今年、海外問題等が経済に対してどの様な影響を与えるかは分かりませんが、我々身近に於きましては、①脱プラスチック問題として自然に優しい素材へと見直す対策が加速すると思います。飲食店ではプラスチックストローから紙ストローへ移行する動きが一部に見られます。車部品に於きましても、植物性素材「セルロースナイフアイバー(CNF)」を樹脂に混ぜて部品に使い、プラスチックや金属の代用品としていくことが検討され、2024年にも実用化を目指すとのことです。さらに、②プラスチック原材料の高騰傾向、③厚生年金の企業への拡大、雇用規模の段階的見直しの検討（中小企業の負担増となる）、④外国人雇用も含めた雇用問題の激化など、数多くの課題が山積みで、今年も厳しい年に成りそうです。

しかし、今年は東京オリンピックが開催される年でもあります。経済効果も期待され、大いに盛り上げ、景気回復に期待したいと思います。

我々業界としても良い年に向け、頑張り、時を超えて、一步前進「考えて行動」をし、更に成長する一年になる事を期待するところです。

最後になりましたが、今年は令和として初めて正月を迎えます。日本の国、日本の物づくり、さらに我々業界が益々飛躍する事を願い、また、皆様方に取って良い年になりますように心から祈念申し上げます。

ドローンの用途

1. ドローン（Drone）とは：

航空法上の規定は「飛行機、回転翼航空機、滑空機、飛行船であって構造上人が乗ることができないもののうち、遠隔操作又は自動操縦により飛行させることができるもの（重量200g未満のものを除く）。

しかし一般的には、200g以下の機体や、人が乗る場合でも小型で自動操縦できる機体、水中や地上を移動する無人機をドローンと呼ぶことがある。

ドローンの語源は、「ミツバチの雄」で、飛行する際の「ブーンブーン」という音が由来といわれている。

そしてドローン開発の歴史は70年近く前、第2次世界大戦中に軍事利用を目的として始まった。

2. ドローンの用途：

①報道；TVでよく見かけるように、四季折々の風景から、風水害・地震・火災等の事件・事故の報道において、上空から俯瞰して撮影することにより、全体の状況が把握できる。

②測量・調査；映像の3次元解析機能や、ドローン本体のGPSによる位置情報並びにホバリング機能を活用して、人間が近寄りがたい場所や垂直面の状況を調査できる。また、広範囲に設置された太陽光パネル点検用ドローンも運用されている。ドローンに赤外線カメラを搭載して太陽光発電施設の上空を飛ばし、異常が発生している箇所（温度差が生じるために赤外線で感知できる）を把握するというものである。

③物流；今後大きく発展が期待される分野である。離島・山間部等の交通不便な場所に、他の手段より安価かつ短時間で配達可能となり、人手不足が急速に進む物流業界に寄与すると共に、買い物難民の人々にも手助けとなる。

④農林業；小型ヘリコプターによる農薬散布など、いち早く先端技術を取り入れてきた農林業分野において、農薬散布だけでなく、高精度カメラの搭載と、撮影画像のAI解析が相まって、農作物育成状況のチェックや病虫害被害の確認が可能となってきた。

また、果物への日当たりや風あたりをよくするために枝をカットする「剪定」作業において、果物を見上げて歩き回りながら剪定すべき枝を確認していくことは重労働である。ドローンで撮影した画像で日当たり具合をチェックすることにより、短時間かつ一定の基準で剪定ができる。

⑤漁業；5Gによる大容量・低遅延通信と水中ドローンを使用し、遠隔で漁場の状況を観測し、労働者の負担軽減と餌やりの効率的なタイミングを把握する実証実験をNTTドコモと東京大学が共同で2018年5月に実施した。

⑥警備・防犯；固定式監視カメラでは捉えきれない方向（死角）や状況をドローン搭載カメラは追跡し効率よく監視が行えると共に警備業界の人材不足にも貢献する。

⑦消防・救急・災害対応；ドローン搭載カメラで上空から全体像を把握する事により、より適切な人員・機材を投入して迅速な消火・救急活動が行える。

また、大きな災害発生時には、電力会社の送電が長時間に渡って停止し、携帯電話基地局の非常用電源も失われて携帯電話・スマホが通信できなくなる。（携帯）電話の基地局をドローンに搭載することにより、移動型の通信基地を形成し、通信を確保する取り組みが試行されている。

⑧損害保険；被害が広範囲に及ぶ、地震・風水害・火災等においてドローンを活用し、損害保険金支払の見積もりを迅速におこない、被害者の救済に資する取組が一部の保険会社で行われている。

⑨軍事；日本を除く諸外国のドローン活用の半分以上はその発展の経緯から軍事目的である。今後、本稿で述べる、高精細画像取得、5G通信、AI活用の進展により民事利用の比重が大幅に増加する。

⑩ホビー；日本ドローンサッカー連盟がドローンサッカーを通じて地域コミュニティの活性化を促進する目的で2019年12月設立された。

⑪観光；厳密な意味でのドローンではないが、「空



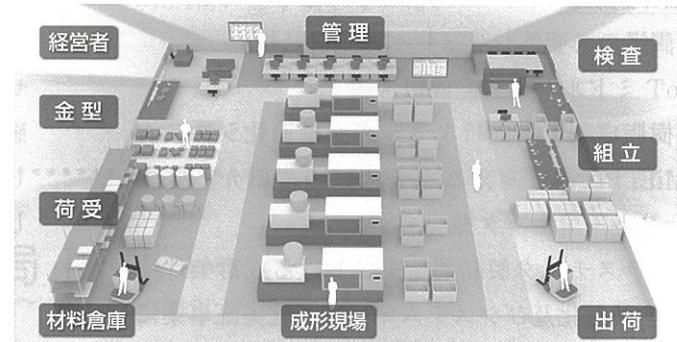
成形工場のIoT／生産管理は ムラテックにお任せください！

成形業統合生産管理システム

GMICS

- 成形業の必要項目を網羅したマスタ情報
- 材料価格変動時の単価一括更新
- 分かり易い組付品構成（多段階部品構成）
- EDIデータ（内示、受注）の取込み
- 工場の運用に合わせた在庫管理
- 担当者が確認すべき手配を案内（MRP/所要量計算）
- 成形スケジュールと現場監視
- ロットトレース機能

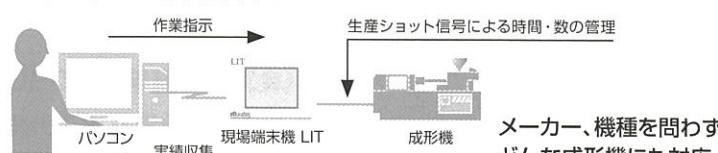
成形業に特化した
MES機能を含む統合生産管理システム



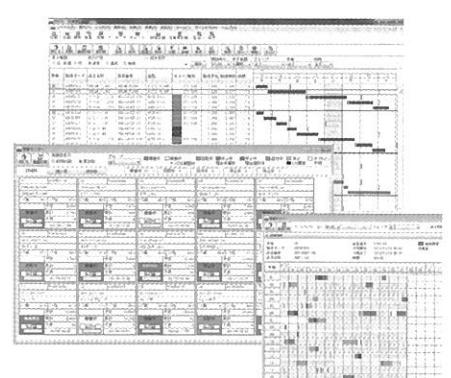
成形工場生産管理システム

MICS7

- 最適スケジューリング作成
- 稼働状況監視
- 実績管理
- オンラインによるリアルタイムな作業指示
- 正確なデータの自動収集
- 保守（金型・成形機）管理



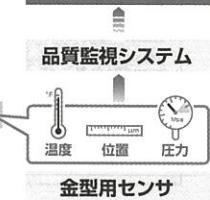
成形現場の「見える化」と効率アップを
サポートする生産管理システム



ミドルウェア



生産管理システム



ムラテック情報システムは、西日本プラスチック製品工業協会および近畿経済産業局と協同で、成形機のデータフォーマットを共通化しデータを統合するシステム「Middleware(ミドルウェア)」の開発を行いました。Middleware と弊社システム製品とのデータ連携強化の取り組みを通じて、プラスチック成形業における IoT導入拡大に取り組んでまいります。

新しい技術の創造で豊かな社会の実現をめざす 村田機械グループ

ムラテック情報システム株式会社
<http://www.muratec.jp/mis>

■本社／京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686
TEL 075(672)8257 FAX 075(672)8307
■大宮支店／埼玉県さいたま市大宮区宮町4丁目85-1 〒330-0802
TEL 048(649)6139 FAX 048(649)5123

令和二年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

年頭にあたり謹んで皆様の
ご繁栄とご健勝を
お祈り申し上げます



電 〒
話 016-002
○ 東京都荒川区東尾久五
五八五五三
五五二一
六一〇一

福 田 晴 通
代表取締役
旭モールディング株式会社

浅間合成株式会社
代表取締役 嶋田修二
〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1
TEL 0555-73-2831
FAX 0555-73-2832
URL:<http://www.asama-gosei.jp>
P-E-mail:shimach@poplar.ocn.ne.jp

明日の情報システムを想像する ASCOT
株式会社 アスコット
代表取締役社長 林政男
本社 〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10
大手町フタバビル6F
TEL (06) 6944-9211 FAX (06) 6944-3233
東京支店 〒110-0016 東京都台東区台東4-27-5
秀和街徒町ビル5F
TEL (03) 6870-2250 FAX (03) 6870-2253

電 〒
話 016-002
○ 東京都荒川区三
五八五五三
五五二一
六一〇一

アフター 株式会社 アフター
代表取締役社長 実方京一郎
小菅恵美子
会社 荒川樹脂

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-3-11
パラシオン恵比寿504
TEL 03(6303)3748 FAX 03(6303)3746
URL:<http://www.aftr.co.jp>
E-mail:info@aftr.co.jp

電 〒
話 016-002
○ 東京都荒川区三
五八五五三
五五二一
六一〇一

佐藤義明
佐藤義明
会社 荒川樹脂
代表取締役社長 佐藤義明

〒196-0022 川崎市高津区奈根七二〇一三
代

電 〒
話 016-001
○ 東京都中野区中央
三三三三
二二一
一六七三
二五
一四一

プラパート 株式会社 石黒製作所
代表取締役社長 大野泰昭
安達公佐
石田プレス工業株式会社

〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9
TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712
URL:<http://www.pla-part.com>

電 〒
話 016-001
○ 東京都中野区篠崎町五
三三三三
二二一
一六七三
二五
一四一

野邊弘一郎
野邊弘一郎
会社 石田プレス工業株式会社
代表取締役社長 野邊弘一郎

〒136-001
○ 東京都江東区篠崎町五
三三三三
二二一
一六七三
二五
一四一

エングル産業株式会社
代表取締役社長 野邊弘一郎

令和二年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p>Joto LYPRONE</p> <p>城東リプロン株式会社</p> <p>代表取締役 社長 横江政洋</p> <p>本社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目1番4号 TEL 03-5833-8510(代) FAX 03-3863-8116 http://www.lyprone.com</p>	<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p> <p>白石工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 白石創士</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸5-44-8 電話 (03) 3683-3301(代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraiishi-kk.co.jp</p>	<p>電 話 〒27-0014 ○四(七一三三)一中央八街四 千葉県柏市正運寺二七一 曾我部大上</p> <p>代表取締役 曾我部大上</p>
<p>電 話 〒23-0143 ○四(二一七七)八九一 神奈川県相模原市緑区橋本六 中屋第2ビル 一 F ○</p> <p>生 倉 茂</p> <p>セーチョー工業株式会社</p> <p>代表取締役</p>	<p>Sodick</p> <p>株式会社ソディック</p> <p>代表取締役社長 古川健一</p> <p>〒224-8522 横浜市都筑区仲町台3-12-1 TEL : 045-942-3111(代) URL : www.sodick.co.jp</p>	<p>電 話 〒134-0083 ○三(三六七五)二七三 東京都江戸川区中葛西七 一 袁輪透</p> <p>代表取締役</p>
<p>CHIBA 業務用調理機器</p> <p>株式会社 千葉工業所</p> <p>代表取締役 長島勝敏</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 ☎047-438-3411㈹ FAX 047-438-3413 e-mail:peels@chiba-ind.co.jp URL: http://www.chiba-ind.co.jp</p>	<p>謹賀新年</p> <p>中部電力株式会社</p> <p>中部電力グループは会員の皆様の コスト削減に貢献してまいります。</p> <p>販売カンパニー 東京営業部長</p> <p>小池宣弘</p> <p>〒103-0022 東京都中央区日本橋室町四丁目5-1 さくら室町ビル11F TEL: 03-5202-6683 FAX: 03-5202-6675 E-mail: Tokyo.Houjineigyo@chuden.co.jp</p>	<p>TECHNO テクノ精工株式会社</p> <p>代表取締役社長 野本 義三</p> <p>〒270-0113 千葉県流山市駒木台495-5 TEL 04(7155)6055 FAX 04(7155)6662 http://www.technoseiko.com/ E-mail: info@technoseiko.com</p>
<p>TENSHO</p> <p>プラスチックの総合メーカー</p> <p>天昇電気工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 石川忠彦</p> <p>〒194-0005 東京都町田市南町田5-3-65 天幸ビル17 TEL 042(788)1555 FAX 042(796)6333 https://www.tensho-plastic.co.jp</p>	<p>TOSHIBA</p> <p>東芝機械株式会社</p> <p>代表取締役社長 三上高弘</p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F TEL: 03-3509-0323 FAX: 03-3509-0331</p>	<p>電 話 〒38-0055 ○○二二六(二二二六)六一 長野市中御所一 内山三男</p> <p>会長</p>

令和二年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

令和二年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

日鋼YPK商事株式会社 代表取締役社長 菊川 健治 〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー24階 電話 03(5745) 2131 FAX 03(5745) 2160 支店：中部・関西 営業所：室蘭・仙台・長野・富山・岸和田・関西・広島・福岡 URL http://www.jsw-nks.co.jp/	株式会社 日新化成 代表取締役 早川 聖人 〒331-0046 熊谷市さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450	後に立つ会社 日本プラスチックス工業株式会社 代表取締役社長 浅見好邦 本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) さいたま工場 さいたま市見沼区宮ヶ谷塔3-349 〒337-0011 電話 048(683)7281番(代表) http://www.nippla-web.co.jp
NIHON YUKI 株式会社 日本油機 代表取締役社長 森之本辰弘 〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-2-2 TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683 info@nihon-yuki.co.jp http://www.nihon-yuki.co.jp	HARMO 株式会社 ハーモ 電話 055 ○長野県上伊那郡南箕輪村四〇二二六五(七二二)一四一四一一 濱 秀 明 代表取締役社長	電話 055 ○茨城県稟敷市幸一三六七四七 池 下 龍 一 郎 代表取締役
古川化学工業株式会社 代表取締役社長 古川雅一 〒130-0024 東京都墨田区菊川二丁目十四番二号 電話 03(3631) 6655番 03(3634) 3551~3番 FAX 03(3634) 3554番	株式会社 フルプラ 代表取締役社長 古澤正弘 〒110-0016 東京都台東区台東3-11-6 TEL 03-3834-0331 FAX 03-3833-5591 URL http://www.furupla.co.jp/	電話 0003 ○東京都(三七九)一〇一三一四 平和工業株式会社 代表取締役 内藤雅文
鈴木雅之 株式会社 ホーライ 電話 0821 ○東大阪市高井田本通り六七八二二二一八一十一 常務取締役	MATSUI® 株式会社 松井製作所 代表取締役社長 松井宏信 〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 http://www.matsui.net	Muratec 常務取締役 清水勲 ムラテック情報システム株式会社 本社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 大宮支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123

令和二年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

プラスチック成形用金型設計・製作 明輝の金型 株式会社 明輝 代表取締役社長 黒柳貴宏 〒243-0807 神奈川県厚木市金田800 厚木工場 TEL 046-224-2251 〒243-0807 神奈川県厚木市金田1030 神奈川工場 TEL 046-224-1711 〒021-0922 岩手県一関市東台14-67 一関工場 TEL 0191-26-0775 海外工場 マレーシア・メキシコ・タイ・アメリカ URL: http://www.yamashita-denki.co.jp	P&E 山下電気株式会社 代表取締役社長 山下慎一郎 〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL: http://www.yamashita-denki.co.jp	PLASTICS WORLD YAMASO 増田英輔 代表取締役社長 山宗株式会社 関東事業部 東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL.03-5297-7987 FAX.03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/
YUSHIN 株式会社ユーシン精機 代表取締役社長 小谷眞由美 ■本社 〒601-8205 京都市南区久世殿町555番地 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東日本統括営業所 〒331-0811 さいたま市北区吉野町2-179-11 電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927	Leadence 株式会社リーデンス 代表取締役社長 肥後武展 本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049(259)1161㈹	LUBE リューベ株式会社 課長 中村智広 〒514-2102 三重県津市美里町船山44-1 Tel. (059) 279-6262 (代) Fax. (059) 279-6230
東日本健保は加入員の健康づくりを推進しています。 電話 0002 ○東京都(三七九)一〇一三一四 佐藤常務理事 小林理事長 東日本健保 藤林栄達 一夫	(一社)東日本プラスチック製品工業協会 共済事業委員会 ～会員のお役に立つ事業を推進しています～ ○ETCカード事業 ○ガソリンカード事業 ○各種ユニフォーム、安全靴、タオル等斡旋 ○PL保険、団体生命保険 ○プラスチック手帳、選別機、保存食ほか 電話 03-3541-4321 事務局 八尋	（一社）東日本プラスチック製品工業協同組合 ～今後とも、会員企業のお役に立つよう下記の事業に積極的に取組んでまいります～ ○各種ユニフォーム・事務服等 ○ETCカード事業 ○ガソリンカード事業 ○PL保険、団体生命保険 ○タオル斡旋、保存食、精米機他 上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。 東日本プラスチック製品工業協同組合 代表理事 鷗田修二 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324
会長 藤野山 加大横下安八 副会長 泰真俊彰 副会長 豊昭男 副会長 喜彦恭 副会長 藤尋 副会長 仁彥恭 専務理事	全日本プラスチック製品工業連合会 会長 藤野山 加大横下安八 副会長 泰真俊彰 副会長 豊昭男 副会長 喜彦恭 副会長 藤尋 副会長 仁彥恭 専務理事	会長 藤野山 加大横下安八 副会長 泰真俊彰 副会長 豊昭男 副会長 喜彦恭 副会長 藤尋 副会長 仁彥恭 専務理事

明けましておめでとうございます

プラスチック原材料の委託研究・共同研究
小量試作、スーパーエンプラまで対応
医療用プラスチック材製造



アルバファインテック株式会社

代表取締役 武田久徳

【本社工場】

〒300-2746

茨城県常総市鴻野山1765-1

電話 0297-30-5171

FAX 0297-30-5173

URL <http://alba-ft.com/>

【栃木工場】

〒329-0524

栃木県河内郡上三川町多功2568-10

電話 0285-51-2311

FAX 0285-51-2312

謹賀新年

旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。本年が皆様にとってより良い年となりますことを祈念申し上げます。

当基金は、プラスチック製品の製造・加工業界で働く皆様の老後生活の充実を目的に設立された企業年金基金です。

退職給付制度の見直しをお考えの事業所様は、是非とも当基金へのご加入をご検討くださいますようお願い申し上げます。

トープラ企業年金基金

理事長 佐藤義明

常務理事 江藤清隆

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13
東京ニットファッショントレーニングセンター 2階 TEL 03-5809-1581